

平成27年度 燧灘カタクチイワシ資源管理の取組

1. 操業状況

早期産卵の推測指標

伯方島における1月～3月の積算水温

1050℃以上 1050℃未満



早期産卵の傾向が推測される

産卵時期の推定

- ・水温測定
- ・GI計測
- ・情報収集

燧灘カタクチイワシ資源管理協議会

予想される産卵状況時期を踏まえて操業開始日を検討。

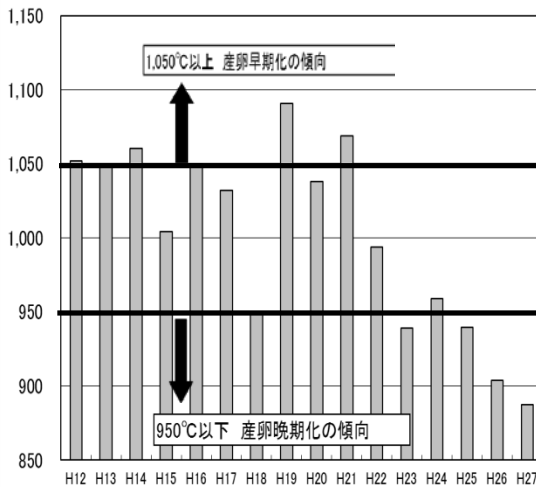


図 移動平均による伯方島積算水温(1月～3月)の年

情報提供 (国研) 水産総合研究センター 瀬戸内海区水産研究所 伯方島庁舎

平成27年漁期

早期産卵なしと推測

平成27年春の燧灘の海水温は例年より低く推移したため、1月～3月の積算水温は、1050℃を下回る887℃であった。

燧灘カタクチイワシ資源管理協議会

操業開始については、従来どおりとすることで合意。

平成27年 操業開始日及び操業期間
瀬戸内海機船船びき網

広島県 6月16日～10月5日

香川県 6月10日～9月18日

愛媛県 6月10日～8月21日

いわし機船船びき網

愛媛県 7月上旬～8月下旬

平成27年 定期休漁日

瀬戸内海機船船びき網

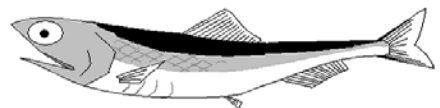
広島県 毎週木・日曜日

香川県 毎週木・日曜日

愛媛県 毎週木・日曜日

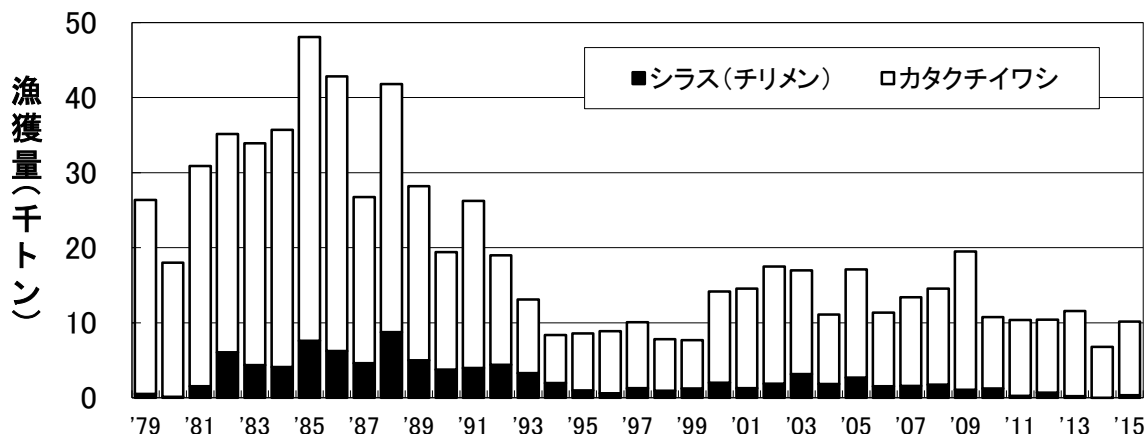
いわし機船船びき網

愛媛県 毎週土曜日



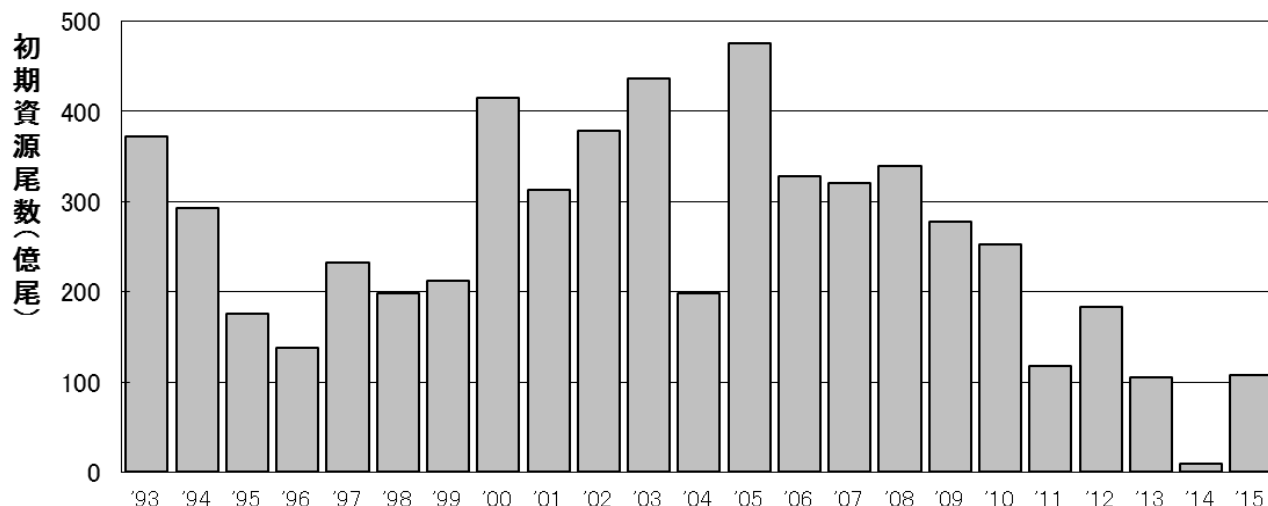
2. 燧灘カタクチイワシ資源状況

(1) 燧灘カタクチイワシの漁獲量の動向



(資料) カタクチイワシ瀬戸内海系群(燧灘)の資源評価より

(2) 燧灘カタクチイワシの初期資源尾数の動向



(資料) カタクチイワシ瀬戸内海系群(燧灘)の資源評価より

(3) 資源状況考察

広島、香川、愛媛の3県水産試験研究担当者の資源解析によると、カタクチイワシ漁獲量は10,147トンで、昨年に続き低水準の漁獲となった。特に、シラス(チリメン)については、記録的な不漁であった前年を上回ったものの、ここ数年は不漁となっている。

また、6月1日時点での資源尾数(初期資源尾数)については107.1億尾と試算され、春季発生群のうち、漁獲される尾数の割合は近年80~90%の間を推移し、今年82.6%であった。

以上のことを踏まえ、親魚を含めたカタクチイワシ資源の水準は低位、動向は横ばいである。